

もいのにぎわい通信

2022年1月22日 定例活動報告

日時：2022年1月22日（土）9：00～12：00

場所：小山町 観音地

天候：晴時々曇 気温4～9℃ 湿度39% 風向 東北東 風速2.2m/s

参加者：29人：子ども6人、大人23人（内土地改良区3人）

■活動

9:00 集合

9:30 作業開始

除草作業(特にミゾグサレ病対策想定エリア)、
マツクイムシ被害木の伐採・焼却

10:30 休憩

除草作業、焼却。

12:00 解散

■活動報告

2022年最初の活動日で大寒という季節です。天気予報は暖かくしてお過ごしくださいというもので、厚着をしてビビりながら出かけていきました。ところが風もなく太陽がしっかり照りつける日となり、冬晴れというんでしょうか、結構温かい日となりました。

本日の作業予定は①マツクイムシにやられたマツを伐採し焼却する、②ミゾグサレ病に感染したスギの伐採予定エリアの草刈りを行う、の二つがテーマです。チーム分けが終わり、それではチーム①の方は、延焼を防ぐために焼却予定地穴を掘ってくださいなどとやっているところに、「あ、オオタカだ！」の声が上がりました。オオタカがちょっと離れた昭和の森にいるのは分かっていたのですが、ここの上空を舞ったのは初めて見ました。食物連鎖の頂点のトップにあるものの余裕でしょうか、本当にユツタリと舞っていました。

マツクイムシにやられた木は改良区の3人がチェーンソーで切り倒していきます。それをボランティアの方々が焼却場所まで運びます。お子さんの参加者も軽めの枝を持ってドンドン積み上げていきます。焚火という生の火を見るのが初めてという子供もいて興味シンシン、良い勉強になったと思います。せつかく人の背を超えるまでに育ったマツの苗がドンドン燃やされていき本当に残念ですが仕方ありません。放っておけばもっと広がるだけだということです。さらにシンボルツリーともいえる中心部に生えているマツ2本も切り倒すという苦渋の決断をしました。初期の頃に県の農林試験場からいただいてきたものですが、天皇陛下の植林セレモニーのお手植え用に育てられていた由緒正しいマツなんだそうです。10年以上もかけて育ってきたマツですが、チェーンソーにかかればあっという間に倒されてしまいました。残念！

ミゾグサレ病のエリアは当地の最北端ですが、ほとんど斜面に生えています。だから刈払機の操作も難しいし、斜面に立っていなければならないので体力も消耗します。切り倒した木がそのまま残されていたり、切り株が残っていたりします。ササが多く手入れが遅れているエリアなので、これらが

見えにくくなっています。これにうっかり刈払機をあてると跳ね返りがあり危険なことがあります。神経も体も疲れる作業なのですが、星野さんと宮原さんをお願いしました。金井は後半の1時間に中央エリアの刈払機による草刈を担当しました。

今回の新しい参加者は、大学生の岡田さん、高校生の高荷さん、大高さんファミリー、柏市から参加の清野さん、川久保さんファミリーではMr.川久保が初めての参加でした。おかげさまで29人の参加となり作業がはかどりました。引き続きよろしくお祈いします。

(記録：金井 章男)

追伸：クラウドファンディングにご協力頂いた皆様へサンクスボードを作成しビニールハウス内に掲載しました。ご寄付頂いた皆様に感謝を込めて手づくりしたサンクスボードです。ネームプレートは、和田さん発案のウッドバーニング仕上げとなっています。また、額は(有)新生住光 代表 藤井是寛 様にご寄付頂き、ネームプレートの取り付け及び設置まで御協力を頂きました。皆様に心よりお礼申し上げます。

.....

お知らせホームページもご覧下さい→ <http://www.g-cycle.org/>

次回の定例会は、2月26日(土)(雨天の場合2月27日(日)) 除草作業、クズの蔓切、枯れた松の伐採を行う予定です。



集合写真



チェーンソーによる枯れマツ伐採



皆さんで伐採したマツを焼却場へドンドン運びます



皆で積み上げていきます



延焼しないように周囲を掘り下げた後点火しました



最後に熾火で焼き芋を作りました。



皆さん手分けして枯れ松を運びます。



ミゾグサレ病エリアの草刈り



第一次植栽（2008年3月）のマツを伐採

親子で年輪を確かめてみる？



第一次植栽のマツを伐採した後（年輪の数15）



美味しい焼き芋をほおぼる



焼き芋美味しそう



宙を舞うオオタカ（ノスリだという説もあります）



サンクスボードの土台設置



設置が完了しました。